



TITLE:

## 心理研究部門(I 研究所の概要)

AUTHOR(S):

室伏, 靖子; 浅野, 俊夫; 小嶋, 祥三; 松澤, 哲郎

---

CITATION:

室伏, 靖子 ...[et al]. 心理研究部門(I 研究所の概要). 霊長類研究所年報  
1980, 9: 15-15

ISSUE DATE:

1980-03-30

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/162890>

RIGHT:

久保田鏡(書評) (1978): M. A. アービッ  
ップ著, 金子隆芳(訳)「脳」サイエンス  
8, 114-116。

## 心理研究部門

室伏靖子・浅野俊夫  
小嶋祥三・松澤哲郎

### 研究概要

#### 1) 大脳半球機能の行動統制における非対称性

室伏靖子

切断脳のアカゲザルにおいて、色の見本あわせ課題では左半球優位が認められたが、線方向の同時弁別ではむしろ右半球優位が示された。この相違を線方向の二選択継時弁別とその般化を用いて、さらに検討している。

#### 2) ニホンザルにおける認知の発達

室伏靖子・松澤哲郎

出生直後から生後3年までのニホンザル乳幼児の知覚・認知機能の発達と身体・運動の発達について縦断的研究が進められている。

#### 3) チンパンジーの言語の獲得

室伏靖子・浅野俊夫・松澤哲郎

小島哲也・藤田和生

チンパンジーに人工語を教える訓練の基本的方法として異質見本合せ課題が用いられ、「もの」の名前(図形パターン)の学習が進行中である(言語学, 情報工学, 神経生理学の分野との共同研究)。

#### 4) 霊長類の選択行動における時間要因の検討

浅野俊夫

#### 5) 霊長類のコミュニケーションに関する比較行動学・神経生理学的研究<sup>1)</sup>

小嶋祥三

#### 6) ニホンザルの視知覚に関する心理物理学的研究

松澤哲郎

### 総説

1) 室伏靖子(1978): 霊長類の認知行動に関する比較研究。脳研究会会誌, 4, 219-226。

2) 室伏靖子(1979): 霊長類の行動 - 知覚から思考へ。「神経科学講座6. 行動と思考」

(渡辺格 他編), 149-188。

3) 浅野俊夫(1979): サルの行動分析。重症心身障害研究会誌, 4, 16-19。

4) 松澤哲郎・浅野俊夫(1979): 類人猿の「言語」習得。言語, 8, (9), 16-26。

### 論文

1) Murofushi, K. (1978): A hemispheric asymmetry of performance of visual conditional discrimination task in split-brain monkeys. "Integrative Control Functions of the Brain" 1. (M. Ito et al. eds.) 445-447. Kodansha, Tokyo.

2) 室伏靖子(1979): 視覚学習における大脳両半球の機能。文部省科学研究費補助金特定研究「脳の統御機能」報告書(2), 327-328。

3) 小嶋祥三(1979): 霊長類の短期記憶に関する研究。文部省科学研究費補助金一般研究(C)研究成果報告書。1-28。

### 学会発表

1) ニホンザルの箱図形の方向弁別にみられる「視空間の異方性」

松澤哲郎

日本動物心理学会第88回大会

動物心理学年報, 28, 57, (1978)

2) 乳児期ニホンザルの身体発育と視知覚の発達

松澤哲郎

日本心理学会第42回大会

発表論文集, 178-179 (1978)

### その他

1) 浅野俊夫(1978): 「オペラント心理学入門」(G. レイノルズ著, 浅野俊夫訳), 東京: サイエンス社。

### 社会研究部門

川村俊蔵・河合雅雄

東 滋・鈴木 晃

森 梅代<sup>1)</sup>・足沢貞成<sup>2)</sup>

1) 米国National Institutes of Healthにおいて研究

1) 教務職員 2) 教務補佐員